

人権教育研究テーマシート

担当（分掌、学年部、教科等） 2 学年	実施時期 平成 28 年 1 月 13 日（水）
テーマ 「認知症サポーター養成講座」 認知症についての理解を深め、認知症サポーターとして地域で活躍してもらうことがねらいである。	
「静岡県が目指す基本的な方向性」との対応 （対応する番号に○を記載する。複数選択可） 参照：静岡県教育委員会「様々な人権問題と人権学習」	1 人権に対する正しい理解を深めること ○ 人権感覚を高めること ○ 自尊感情を育てること
内容 14:15~15:15 の 6 0 分間実施された。 (1) 講義「認知症ってなぁに？」 (2) DVD「認知症の人への対応方法について」 (3) 寸劇「認知症のおばあさんと高校生のやりとり」 代表生徒 2 名がそれぞれが考える対応を披露した (4) 講話「認知症の人を介護した実体験と接し方について」 (5) まとめ、感想発表、写真撮影	
実施後振り返って ・生徒の様子・感想・変化など 認知症という言葉しか知らなかったがDVDや寸劇を見てとても勉強になった。認知症の方々の対応の方法ややってはいけないこと、またわからないことがあれば一緒に考えることが大切だとわかった。これからは学んだことを生かして認知症の方を助けたい。 若い人の中では19歳で認知症になると聞いてびっくりした。周りに認知症の人がいたら優しく対応したい。今回話を聞くことができてよかった。 自分の祖母が認知症で、家族は対応に困ってあまり関わらないようにしている。今日習ったことを家族にも伝え、祖母の気持ちを想像し、祖母が住みやすいように協力してあげたい。 自分の祖父母もいい年なので、自分も無関係ではないと思った。寸劇を見て、悪い例を知らなければその高校生と同じ行動をとっていたと思う。良い例の高校生を見習いたいと思う。 ・実施した教員の感想・意見 話を聞くことがメインだったため、生徒の様子からはわからなかったが、感想を見ると、多くの生徒が認知症について理解し、今後に生かそうとしていることがわかる。この時間のねらいは概ね達成されたと思われる。	